

ジェンダー・女性学研究所
これまでのあゆみ

年度	事業名・刊行物・ニューズレター		
1994	ジェンダー・女性学研究所 組織として発足(4月)		
	セミナー	「1995年北京世界女性会議に向けて」 王軍、梁性儒、マリア・ローザ・ピロリア、プラサンタ・ヘーラッド(10月24日)	
	セミナー	「経済発展のアジアの農村への影響－女性の生活自立視点から－」 シスターノエル・クリスティーンフェルナンド、ピアンボン・パナ・フトアンボン(11月24日)	
	セミナー	「開発と女性－北京会議に向けての世界の動向」松井やより(1月6日)	
1995	ジェンダー・女性学研究所開所式(5月17日)		
	シンポジウム	ジェンダー・女性学研究所開所記念シンポジウム 「教育におけるジェンダーの視点－共学大学における男女平等教育とは－」 鈴木優子、伊藤公雄、國信潤子(7月1日)	
	刊行物	第4回北京世界女性会議情報交換会 松井やより、杉戸ひろ子、高橋ますみ、大野光子(12月15日) 開所記念シンポジウム報告書『教育におけるジェンダーの視点』	
	特別セミナー	「ジェンダーの視点で広告、コマーシャル、視覚芸術を観る」深澤純子、西山千恵子(5月4日)	
1996	文部省委嘱事業 ジェンダー・女性学公開集中講座 「女らしさ・男らしさの神話からの解放をもとめて」 「女と男のビジュアル表現－映画・ビデオのジェンダー平等イメージ」田上時子(9月5日) 「ジェンダーとは何か」國信潤子、ワークショップ:加藤伊都子、渡辺ひろみ(9月6日) 「家事『労働』はなぜタダなのか」伊田広行、パネルディスカッション:中西幸子、太田ふみ子、塚本真衣子、春山勝(9月7日)		
	日本女性学会シンポジウム	秋季大会シンポジウム「フェミニズムと政策決定過程」(会場:愛知淑徳大学) 相内真子、岩本美砂子、剣持一巳(11月23、24日)	
	文部省委嘱事業 ワークショップ	「青年男女の開発における役割－ジェンダーの視点－」 川原啓美、ルマナ・ナヒド・スバハン、吉田美穂(12月14日)	
	文部省委嘱事業 講演・シンポジウム ※1	「女子学生はなぜ採用されないのか?－日本企業のジェンダー構造とその変革の道」大沢真理 「青年男女の共同参画をめざして－女子学生の就労と男性の生活自立への道－」 大沢真理、上村千賀子、渡辺孝治、西崎光代(2月15日)	
	ニューズレター	創刊号、第2号	
	1997	第1回 定例セミナー ※2	「ジェンダーの視点からの日系女性移民史－『写真花嫁』について」柳沢幾美、 「アメリカの社会福祉の実態－ジェンダーの視点から見る」杉本貴代栄(7月25日)
		シンポジウム	「変わる雇用機会均等法－新しい女性の働き方－」 柴山恵美子、北村明美、大杉美奈(1月24日)
第2回 定例セミナー		「フェミニズムと文化的差異の表象－イスラームを手がかりに－」岡真理(2月9日)	
刊行物		報告書『文部省委託事業 平成8年度青年男女の共同参画セミナー－社会における男女のあり方に関する意識調査－報告書』	
ニューズレター	第3号、4・5合併号		
1998	第3回 定例セミナー	「教育機関におけるセクシャル・ハラスメント」バーバラ・ストラザード、井上摩耶子(6月5日)	
	第4回 定例セミナー	「現代青年の結婚意識」板本洋子(11月13日)	
	刊行物	公開シンポジウム報告書『変わる雇用機会均等法－新しい女性の働き方－』	
	ニューズレター	第6号、第7号	
1999	特別セミナー	「アメリカ・フェミニスト社会学・女性学の現状と課題」バリー・ソーン(6月18日)	
	第5回 定例セミナー	「父親の心理学」柏木恵子(10月22日)	
	第6回 定例セミナー	「遺伝子情報とジェンダー」堀田康雄(1月17日)	
	刊行物	報告書『女性学教育カリキュラム研究 アメリカ諸大学を中心として』	
	ニューズレター	第8号	
2000	講演会	「居住空間とジェンダー」田中恒子(4月24日)	
	特別セミナー	「スポーツとジェンダー」ジェニファー・ハーグリーブ(4月25日)	
	特別報告会	「ニューヨーク国連総会特別会期 北京+5及び民間組織活動」 松井やより、國信潤子(7月4日)	
	第7回 定例セミナー	「外国人労働者と地域社会－豊田市保見団地の事例－ジェンダー視点からの考察」野元弘幸、 「NGO、NPOの活動の現状:地域の国際、民際交流－東海地区を中心に」栗田麻結(12月1日)	
	国際シンポジウム	「女性への暴力問題解決に向けての教育・学習を考える－」 ニワット・スワンファトナ、ユンエ・チョイ、笹原艶子(12月18日)	
	特別セミナー	「男性が考える女性への暴力防止法」中村正、熊田一雄(2月27日)	
	国際シンポジウム	「男たちのノー・モア・VAW」マイケル・カウフマン、中村彰、可児康則(3月31日)	
	ニューズレター	第9号、第10号	

2001	第8回 定例セミナー	「男女共同参画の日米比較－女性のエンパワーメントと政治参画－」ジョイス・ゲルブ(11月8日)
	特別報告会	「モンゴルの最新ジェンダー状況報告－新たなモンゴル社会開発はジェンダー平等か－」 オイドブ・エンフトヤ、オフル・エンドルジェ(11月30日)
	第9回 定例セミナー	「ジェンダー視点から新しい開発のあり方を考える－フィリピン農村の事例から－」 ジョイ・A・バスチャン(12月5日)
	第10回 定例セミナー	「フェミニズムとアジア・太平洋地区の多文化コミュニケーション」ヴェラ・マッキー(1月10日)
	シンポジウム	「今こそ男女の平等を！－今日の厳しく、閉塞的な雇用状況をどう切り拓くか－」 中野麻美、坂喜代子、榊原國城(2月9日)
	刊行物	報告書『4年制共学大学学部におけるジェンダー・女性学領域の教育』
	ニューズレター	第11号、第12号、第13号
2002	第11回 定例セミナー	「『ヘミングウェイのジェンダートレーニング』批評」武田悠一(6月28日)
	シンポジウム	「セクシュアリティ/ナショナリティ/人種から映画の表象/表現を考える。ほら、けっこう、社会が見えるでしょ。」岩田和男、鶴殿えりか、外岡尚美(12月7日)
	ニューズレター	第14号、第15号
2003	特別セミナー	「就職活動のためのサバイバルセミナー－元気に社会にでるために、ジェンダーの視点から就職を考える－」福沢恵子(7月4日)
	第12回 定例セミナー	「男女共同参画社会実現にむけての問題と対応」橋本ヒロ子(10月17日)
	ワークショップ	「メディアとジェンダー」松浦さと子(12月22日)
	刊行物	ワークショップ実施報告書『メディアとジェンダー』 報告書『ジェンダー・女性学研究・活動におけるICTの活用実態調査・研究成果報告書』(科学研究費補助金基礎研究調査報告)
	ニューズレター	第16号、第17号
2004	第1期連続講座「文学とジェンダー表象」	第1回「日露戦争から百年の女性詩－起点としての与謝野晶子－」中島美幸(4月24日) 第2回「夏目漱石と家庭小説家たち－日本近代のジェンダー編成の起源－」藤森清(5月15日) 第3回「イギリス児童文学をジェンダーで読む－ピーターパンと近代家族の崩壊－」川端有子(6月5日)
	第13回 定例セミナー	「セクシュアリティの多様性について考える」日高庸晴(12月2日、16日)
	刊行物	第13回定例セミナー実施報告書『セクシュアリティの多様性について考える』
	ニューズレター	第18号、第19号
	2005	学園100周年と本研究所開所10周年記念講演「映画表象とジェンダー」(7月12日) 第I部 ドキュメンタリー映画『おばあちゃんのガーデン』上映 第II部 リンダ・オーハマ監督の講演及び高野史枝氏とのトーク
	第14回 定例セミナー	①「自己尊重トレーニング」市川まゆみ、三輪雅子(12月15日)、 ②「ワークショップWomen's Self-defense」福多唯、松尾奈々(12月16日)
	ニューズレター	第20号、第21号
2006	第15回 定例セミナー	「宮崎駿アニメにみる日本のジェンダーの光と闇」藤森かよ子(7月7日、14日)
	第16回 定例セミナー	「DVの実態と被害者支援の現状－DVの加害者にも、被害者にもならないために－」 可児康則(11月8日、30日)
	ニューズレター	第22号、第23号
2007	第17回 定例セミナー	「人生いろいろ 生き方いろいろ－男女共同参画社会がめざすこと」中村彰(7月9日、10日)
	第18回 定例セミナー	「キャリア・デザインとジェンダー」宗方比佐子(9月20日)
	第19回 定例セミナー	「“わたし”が“あなた”だったら・・・取材で日々思うこと」大脇三千代(10月24日)
	ニューズレター	第24号、第25号
2008	第2期連続講座「心理学とジェンダー」	第1回「脳の働きから見た男と女」吉崎一人(6月18日) 第2回「社会性の発達と性差－なぜ女の子は人形が好きで、男の子はミニカーが好きなのか？」 郷式徹(7月2日) 第3回「思春期と青年期における自己同一性とジェンダーをめぐる葛藤と成長」 米倉五郎、岩本由美子(7月16日)
	講演会	"Travel Abroad and Expanded Understanding: James Baldwin's Loveless American in Paris" Donald E. Hall(6月27日)
	第20回 定例セミナー	「恋愛と暴力－デートDVにおける力と支配の関係」具ゆり(10月30日)
	刊行物	研究書『ジェンダーの交差点－横断研究の試み』、 報告書『ジェンダー教育の体系的プログラムの提案』
	ニューズレター	第26号、第27号

2009	報告会	「アメリカ視察報告会」神崎裕子(5月29日)
	第21回 定例セミナー	「ジェンダー化された自然－18世紀の博物学を題材に－」小川眞里子(6月8日、15日)
	講演会	「女性の世代間交流と変遷について」リンダ・オーハマ(6月22日)
	第22回 定例セミナー	「少女マンガにみるジェンダー <男装の少女>はどのように描かれたかー」 押山美知子(10月23日)
	ニューズレター	第28号、第29号
2010	講演会	ドキュメンタリー映画『礎(いしづえ)－日系カナダ人4世と5世の挑戦』上映と講演 リンダ・オーハマ(5月10日)
	第3期連続講座	「ジェンダーを演じる－装う／奏でる／話す」 第1回 「『かわいいメンズ』の時代？」古賀令子(6月5日) 第2回 「ロックとジェンダー－逸脱する性をめぐって」井上貴子(6月12日) 第3回 「おネエキャラのこぼれ-J-TVにおけるジェンダー/セクシュアリティ」クレア・マリイ(6月19日)
	第23回 定例セミナー	「家事・育児はほんとに楽しいか？－男が試される時、女が試される時－」岡崎勝(10月11日)
	ワークショップ	「女子学生のための護身術－心構えから実践まで－」大沼もと子(12月3日)
	刊行物	第3期連続講座講演録『装う／奏でる／話す－ジェンダーを演じる』
	日進市委託事業	男女平等推進情報ボード作成
	ニューズレター	第30号、第31号
	2011	第24回 定例セミナー
第25回 定例セミナー		「ジェンダーの視点でみる韓国ドラマ」山下英愛(11月24日)
刊行物		研究書『ジェンダーと教育－横断研究の試み』、 報告書『愛知淑徳大学卒業生のキャリア・コース及び“コミュニケーション力”観に関する調査報告書』、 事例集『女性とキャリア・生き方～愛知淑徳大学卒業生の再チャレンジ事例～』
ニューズレター		第32号、第33号
2012	第4期連続講座	「キャリア・労働とジェンダー」 第1回 「女性のキャリア形成」福沢恵子(6月14日) 第2回 「<働く>ときの完全装備——働く前に考えておくべきこと」伊田広行(6月20日) 第3回 「女性活用小国のカルテ — しあわせに働くために何が必要か」竹信三恵子(6月28日)
	第26回 定例セミナー	「憲法24条を知っていますか？－両性の平等と非暴力の礎」中里見博(11月21日)
	刊行物	第4期連続講座講演録『キャリア・労働とジェンダー』
	ニューズレター	第34号、第35号
	2013	第27回 定例セミナー
演劇公演と ワークショップ		演劇「にじいろちらしずし」と牧村朝子ワークショップ(8月31日、9月1日)
第28回 定例セミナー		「少女マンガの男装キャラクターにみる女性身体と男装の関係性」 押山美知子(11月27日、両キャンパスにて)
刊行物		報告書『問い直しの輪を広げるために』
ニューズレター		第36号、第37号
2014	第29回 定例セミナー	「男は女を守るか——ていうか、どうして守りたいの？」澁谷知美(6月12日)
	第30回 定例セミナー	「国連やさまざまな国の中での女性」有馬真喜子(11月13日)
	AHI報告会	「バングラデシュ 未来を切りひらく 女性パワー」 ソケール・バヌ、カジ・マゼッド・ナワズ(12月9日)
	特別展示	「女子学生と制服」パネル展
	ニューズレター	第38号、第39号
2015	第5期連続講座	「恋愛で傷つかないために」 第1回 「DVの実態と被害者支援の現状」可児康則(6月9日) 第2回 「恋愛がセクハラにならないために」牟田和恵(6月17日) 第3回 「被害者の心理と被害からの回復－被害者対応のポイント－」高山直子(7月1日)
	AHI報告会	「『わたしの』平和づくり」ズバイダ・シャミム・デワン(10月13日)
	第31回 定例セミナー	「スポーツはジェンダーバイアスを克服できるか？」溝口紀子(11月20日)
	後援イベント	「新井祥さんトークショー」新井祥、うさきこう(12月12日) 主催：学生同好会ジェンダー研究会coalook
	刊行物	第5期連続講座講演録『恋愛で傷つかないために』
	ニューズレター	第40号、第41号

2016	第32回 定例セミナー	「フェミニズムの平和構想ー安全保障の神話から、ケアの倫理へ『戦争と平和を問い直す』」 岡野八代(6月6日、7日)
	協賛イベント	にじいろちらしずし第1.5弾 映画『ジェンダー・マリアージュ』+座談会「日本の学校におけるLGBT問題」(8月11日) 主催:にじいろちらしずし製作委員会
	AHI報告会	「最果ての島で健康を守る フィリピン・スルー諸島での取り組み」 ガイド・ブノー・ジャイナル、エマリン・バビン・ジャラル(10月11日)
	第33回 定例セミナー	「小さなフェミ心を否定しないでー『アナと雪の女王』を読み解く」齊藤綾子(11月28日、29日)
	刊行物	報告書『社会における男女のあり方に関する意識調査2016-20年間の変容と今後ー』
	ニューズレター	第42号、第43号
2017	第34回 定例セミナー	「母と娘の関係を考えるー愛情という名の支配ー」信田さよ子(6月30日、両キャンパスにて)
	公演	「ジェンダー・ダイバーシティ表現演習 I・II」第1回成果発表公演「きゃんでいすくらんぶる」(9月2日)
	AHI報告会	「ダリットとして生きるーインド社会で虐げられてきた人々の声に聴くー」 ムルガン・カリガトゥナム(11月21日)
	第35回 定例セミナー	「女性活躍って誰のもの？ー男女ともに、就活前に知っておくと役に立つ「女性活躍推進法」のお話」 皆川満寿美(12月1日、両キャンパスにて)
	ニューズレター	第44号、第45号
2018	第6期連続講座 「2020年東京オリンピックに向けて！ージェンダーの視点で見るスポーツ」	第1回「スポーツを社会学する」西山哲郎(6月1日) 第2回「マスメディアを理解するースポーツ報道を考えるために」林香里(6月22日) 第3回「アスリートの身体とジェンダー」合場敬子(7月2日)
	特別講演会	「性的マイノリティのこれまでとこれから」マーガレット(7月13日)
	公演	「ジェンダー・ダイバーシティ表現演習 I・II」第2回成果発表公演「パレット〜まじる、まざる、まざる。」 (9月1日)
	第36回 定例セミナー	「多様な人材・多様な働き方が、会社と社会のステキな未来をつくる！」下方敬子(11月20日)
	刊行物	第6期連続講座講演録『2020年東京オリンピックに向けて！ージェンダーの視点で見るスポーツ』
	ニューズレター	第46号、第47号
	第37回 定例セミナー	「オトコの変え方・変わり方ーケアという視点で考えるー」平山亮(6月17日)
公演	「ジェンダー・ダイバーシティ表現演習 I・II」第3回成果発表公演「星空ブレンド」(8月31日)	
2019	第38回定例セミナー	「脳の性差と社会/脳の男女差について科学的に考える」四本裕子(11月19日)
	AHI報告会	「スリランカの漁村から平和をつくり出す人々」フランシス・プリヤンカラ、スランギ・ワサナ(12月3日)
	ニューズレター	第48号、第49号
	第39回 定例セミナー	「男コピーライター、育休をとる。〜ポスト育休の日々〜」魚返洋平(10月28日)
ステレオリムープ 課	発足。Coalookへの取材。	
ニューズレター	第50号	
2020	公演	「ジェンダー・ダイバーシティ表現演習 I・II」第4回成果発表上映会「普つうじょうシキ当たりまエ」(10月27日@星が丘、11月8日@長久手)
	第40回 定例セミナー	「ジェンダーのいまを考えるー愛知淑徳大学のジェンダー教育を振り返ってー」平林美都子・石田好江 (10月18日)
	共催イベント	ボーダー心のままに生きる「性」上映会/ディレクターズトーク(グローバル・コミュニケーション学部、国際交流センターとの共催)
	ステレオリムープ 課	東海ジェンダー研究所への取材、ジェンダー・ダイバーシティ表現演習への取材、日本女性学修財団『We Learn』寄稿、ウィルあいち情報ライブラリー団体活動PRパネル展参加、ジェンダー・ダイバーシティアンケート実施、長久手市男女共同参画情報紙「自分らしく」作成。
	ニューズレター	第51号
2021	講演会	「自分らしいスーツの着こなしー就活・社会人のためにー」嘉地未佳(7月1日)
	イベント	「ベルばらかるた会」(7月)
	公演	「ジェンダー・ダイバーシティ表現演習 I・II」第5回成果発表公演「型なしクッキーたべてみた」(9月3日)
	第41回 定例セミナー	「“ジェンダー不平等国”で生きていく。〜キャンペーンCM制作から見えてきたこと〜」繁澤かおる(11月21日)
	ステレオリムープ 課	日本女子大学現代女性キャリア研究所への取材、ジェンダーレス制服プロジェクト、愛知県立名古屋西高等学校からの取材
ニューズレター	第52号	
2022	講演会	「自分らしい身だしなみ」嘉地未佳(6月6日@長久手、6月7日@星が丘)
	公演	「LGBT・性別ってなんだろう？〜同じ人はひとりもない！だれもが自分らしく生きられる社会へ〜」辻瑞希(1月5日)
	公演	「ジェンダー・ダイバーシティ表現演習 I・II」第6回成果発表公演「自分のための辞書を編む」(9月2日)
	第42回 定例セミナー	「価値創造につなげるダイバーシティ&インクルージョン」根本和子(12月15日)
	ステレオリムープ 課	ジェンダーレス制服プロジェクト(愛知工業大学名電高等学校訪問、小牧市長訪問)、三重県四日市市立富洲原中学校からの訪問対応、お茶の水女子大学ジェンダー研究所訪問、淑風祭出展、愛知県立名古屋西高等学校からの取材、学生部長表彰
ニューズレター	第53号	